

## 就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社SANCYO TANOSHIKA FARM
住 所	福岡県久留米市津福本町845-5
電話番号	0942-38-2655

事業所番号	4012701928
管理者名	阿部 真生
対象年度	令和8年度

## 地域連携活動の概要

## &lt;活動内容&gt;

- ・活動場所: ベジサーク ハウス内作業  
事業所 室内作業
- ・実施日程: 令和7年1月～
- ・実施した生産活動・施設外就労の概要  
小松菜の収穫作業、調整、量り、袋入れ、箱詰め作業
- ・利用者人数 平均10～15名

多様な人材が地域で活躍することで相互理解を深め、地域の活性化につながりたいと考えました。さらに、地域の方々と一緒に働くことで、利用者が自然にコミュニケーションを取る機会を増やし、交流を促すことを目指しました。

## &lt;成果&gt;

多様な人材が地域で活躍したことで相互理解が進み、地域の活性化に寄与しました。さらに、新たな担い手の増加により、生産の効率化や収量の向上にもつながりました。一方で、今後の課題として、日常業務における作業効率の向上が挙げられます。業務をより円滑に進めるため、さらなる工夫や改善が必要です。

## &lt;活動の様子&gt;



## 連携先の企業等の意見または評価

## 連携した結果に対する意見または評価

連携によって生産効率が高まり、その結果、利益率の向上にもつながっています。新しい働き手の確保や地域との連携が効果を発揮し、持続的な発展に寄与していると言えます。今後は、作業効率をさらに高める工夫を進めることで、安定した成果が見込まれます。

## 今後の連携強化に向けた課題

連携により生産効率が向上し、収量の安定化や利益率の向上が実現しています。また、多様な人材の活躍が地域の活性化にもつながっており、今後の成長が期待されます。一方で、作業効率を安定して維持するため、マニュアル整備や機械化、作業者の技能向上といった取り組みが必要です。

連携先企業名	株式会社 ベジサーク	担当者名	尾形
--------	------------	------	----

## 就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	株式会社SANCYO TANOSHIKA FARM	事業所番号	4012701928
住 所	福岡県久留米市津福本町845-5	管理者名	阿部 真生
電話番号	0942-38-2655	対象年度	令和7年度

## 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>活動場所 TANOSHIKA FARM事業所</p> <p>実施日程 2026年2月2日</p> <p>実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要： 就労継続支援A型事業所で取り組むこと、現在の障害者雇用の状況について</p> <p>利用者数：7名</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> 
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>A型事業所で働くことの意味や利用者様と職員が改めて共有し、働く経験を通じて一人ひとりの成長を支えながら、これからの可能性や選択肢を広げていくことを目的としています。また、対話を大切にしながら、利用者様と事業所が共にこれからの考えていくきっかけとすることを目指しています。</p> <p>利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい： 働くことの意味やA型事業所での役割について理解を深め、自身の経験を振り返りながら、これからの働き方や可能性を考える力を育むことをねらいとしています。また、日々の業務や人との関わりを通して、自分で考え、伝え、選択していく力を高めることを目的としています。</p> <p>利用者にとってのメリット： 働くことの意味や目的を改めて理解し、自身の成長やこれからの可能性について考えるきっかけとなる 日々の仕事を通して自分の強みや課題に気づき、将来の選択肢を広げていく視点を持つことができる 事業所や職員との対話が深まり、自分の思いや希望を共有しながら主体的に働く意識が高まる。</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>実施した結果得られた成果：</p> <p>研修を通じて、利用者様が日々の働き方やこれまでの経験、これからのことについて改めて考える様子が見られました。また、職員と利用者様が同じ視点で話をするきっかけとなり、今後の支援や関わりを一緒に考えていくための土台をつくることができたと感じています。</p>	

## 連携先の企業や事業所等の意見または評価

今回の研修は『A型事業所で働くということ・働くことを通じて利用者のこれからの可能性を広げ選択肢を増やす』という内容で利用者様、職員の方へ講和として実施させていただきました。雇用契約に基づいて『働く経験の中で本人の成長を伴走する』こと。そして福祉サービスとして利用者様のこれからの選択肢を増やすために改めて事業所としての考え方や支援の方向性について共通認識を作り共にこれからの考える機会となればと思ってお話をさせていただきました。日常における関わりの中で利用者様自身が意識してほしいことや改めて考えていく視点を伝える中で参加された皆様が積極的にメモを取ったりしっかりと自身のこれまでとこれからを考えている様子が見えました。研修は講和としてお伝えすることだけでなく今回をきっかけとしてこれからの支援に活用していくことが最も重要と考えています。利用者様と事業所が互いに対話を増やす中でそれぞれの思いや希望を形にしていけることにつながる土台は構築できたと感じています。今後の利用者様および職員の皆様のコミュニケーションがますます活発となることを期待しております。

連携先企業(担当者)

合同会社Dweild(宮本 孝之)

## 利用者からの意見・評価

参加した利用者からの意見・評価

体調を整えることが会社に貢献する第一歩と捉えて体調管理をしていきたい。(N.Tさん)  
休みが多いので週20時間は出勤したいと思えます。思ったことや困ったことは相談したいと思えます。(M.Aさん)  
体調管理に気を付けて安定した出勤をすることを頑張ります。(M.Rさん)  
出来ることはやったほうが得とのことだったので明日から出来ることはしっかりやる。毎日自分に対して1つ目標を作る。(K.Mさん)